



2005-06 Governor's Information

検索

■公式訪問日程表

■年間予定表

■褒章について

■役割分担表

■ガバナー補佐事務所

■地区役員

■地区委員会

■地区内クラブ

■ロータリーソング

■リンク集



▲名古屋港

ガバナー月信 No.2 8月

会員増強および拡大月間

- ・[ガバナーメッセージ](#)
- ・[会員増強および拡大月間によせて](#)
- ・[会員増強および拡大月間によせて](#)
- ・[万博だより](#)
- ・[地区協議会報告](#)
- ・[RI日本委員のご紹介](#)
- ・[文庫通信](#)

国際ロータリー第2760地区
2005-2006年度ガバナー

高橋 治朗

■ガバナープロフィール

■地区方針

■RI会長ごあいさつ



超我の奉仕

ガバナー事務所ご案内▶

2005国際博委員会▶

月信バックナンバー

[2004-2005年度バックナンバー](#)

国際ロータリー第2760地区(愛知) ガバナー 高橋治朗

〒450-6002 名古屋市中村区名駅1-1-4

名古屋マリオットアソシアホテル2226号室

TEL.052-583-3171 FAX.052-583-3172 E-mail:governor05-06@rotary2760.org

[ガバナーメッセージ]

Governor Message

Aug.

シカゴ世界大会

第2760地区
2005～2006年度ガバナー

高橋 治郎



大島年度の6月29日、当地区に名古屋葵クラブという81番目の新しい仲間が誕生しました。大島ガバナー、安藤地区幹事、名古屋北クラブ皆様方大変なご苦勞によるものであり、厚くお礼と同時に祝い申し上げます。

さて、今年の国際大会は、ロータリー創立百周年記念としてシカゴで6月19日に開会式が行われましたので、便利になったセントレアからアメリカン航空で直接シカゴに向かいました。ロータリー活動は最初、米国だけでスタートし、カナダが参加して国際大会と呼ばれるようになってから、今年で96回目ということです。

大会前日の午前中には、ロータリー百周年パレードが市内の公園の大通りで2時間以上行われ、ブラジル、台湾、香港は、派手に山車を出したり楽隊を出したりしていましたが、日本からは広島の方々が行進しただけでした。



100周年歓迎パレード

開会式当日は、早朝からエステス会長も参加した日本人朝食会があり、千人ほどが参加しました。午後には、巨大なマコミックプレースで3回に分けて開会式が行われ、大島、石川両ご夫妻、野村パストガバナーにもお会い出来ました。会議は加盟166ヶ国の国旗行進（今年から2国増加）、エステス会長挨拶の後、国連アナン事務総長、ブッシュ大統領のビデオメッセージ、またロータリー百周年の歴史やポリオ撲滅運動等が大画面で紹介されました。

シカゴの新聞には毎日ロータリーの折込広告が入り「世界から150ヶ国4万人が参加、経済効果3,650万ドル」と宣伝し、また「1985年から累計600万ドルを拠出し122ヶ国の子供20億人にポリオワクチンを接種させ、1988年の35万件の発症件数が2004年に1,200件に減ったのはロータリーの協力のお蔭」とWHO・ユニセフからの感謝状も掲載されました。やはり最近のロータリー活動で世

界に一番認められているのはポリオプラスかなと思いました。なお6月19日発表の大会日報によると参加者数は40,487人だったそうです。

翌20日夜は、シカゴ自然史博物館を借切ってボックスディナーパーティーが催され大変な人出でした。ワインやビールを片手にもって博物館のガラスケースの上に箱弁を揚げお喋りをする（我々は運良くテーブルに着けましたが）という、日本の博物館ではあり得ない光景を見ることが出来ました。ここでも豊橋の石川ご夫妻と、恐竜化石"スー"の前で会い写真を撮り合ったりしました。

いずれにしても、今回のシカゴ大会は大変印象深いものでした。

公式訪問も8月・9月はピークになります。万博も最後の追込みです。暑さも厳しい中、さわやかなロータリー館の利用度が更に高まり、皆様の熱意が世界中に広がれば地域の活性化につながり、ロータリーへの理解も深まるものと思います。今後とも会員の皆様には大変お世話になると思いますがご支援の程よろしくお願い申し上げます。



友愛の家



日本人朝食会にて

▶ 会員増強および拡大月間によせて “会員増強”私の役割

第2760地区
2005～2006年度地区会員増強委員長

菊岡 深智子



ロータリーの“奉仕の理想”は四大奉仕部門である“クラブ奉仕”“職業奉仕”“社会奉仕”“国際奉仕”という国際的ロータリーの哲学的な礎石に基づいた奉仕活動から構成されている。殊に今期のR I 会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏のテーマである“超我の奉仕”は、ロータリークラブが発足して以来101年目過去一世紀という長い歴史、実績の上に培われた奉仕活動の姿を表明されている。

“超我の奉仕”の可能策の一方法として、仲間を増やす、会員増強純増1名が強く叫ばれている。それは何故か…世界的規模であるロータリー奉仕団体。現在の会員数減少が（自然減10%）著しい世界的現象である。減少の理由は国によって異なるが会員の減少は、より理想的、より効果的な奉仕活動に少なからず奉仕活動に影響を及ぼす。効果的な活動を継続するには、一人でも多くの叡智と温かい心と手が必要とされる。100年という奉仕活動の歴史の積み重ねは、約120万人の手で支えられている。活力あるエネルギーの継続はあなたの手に私の手にあります。

殊に2005年～06年R I 会長のテーマ“超我の奉仕”を遂行するには、会員増強が不可欠と言われている。従ってR I 会長の会員数減少は活力ある活動に危惧の念がある。我々ロータリー会員は各国で、

各地で増強活動の応援を心がけて行かなくてはならないと私は考えている。

私は何としてもこの1年間、私の役割、会員数各クラブ純増1を目標に、2760地区の皆さんに会員増強の重要性を説明して、各ロータリー会員増強委員の方々のご協力をお願いしR I 会長101年目“超我の奉仕”の基盤の足がかりを指導して行かなくてはならないと考えている。

- | | |
|-----------------|--|
| ◎ 会員増強の柱 | <ul style="list-style-type: none"> ●若い人々への呼びかけ（若い血液の導入） ●女性会員への働きかけ |
| ◎ 退会防止 | <ul style="list-style-type: none"> ●現会員の再教育、指導（ロータリーを考える） ●楽しいクラブ計画の必要 ●子クラブの拡大 |

私は奉仕活動に、難しい規制も定義もないと思いますので、一人でも多くの心優しい友人を増やし、R I 会長のテーマ“超我の奉仕”の精神、協力ができますよう努力し、私の役務を果たし、会員の皆さんに私のエネルギーをお届けしたいと頑張ります。

どうぞ会員の皆様、ご協力の程お願い申し上げ、全員の手で楽しいロータリークラブを構築して参りましょう。栄えあるロータリーアンを目指して2005年～2006年度を迎える。

▶ 会員増強および拡大月間によせて

第2760地区
2005～2006年度地区拡大委員長

杉浦 壽康



はじめに

8月は増強・拡大月間です。今日、日本では長く続く不況を背景に会員数が減少しています。この現象は世界的にも見られます。シカゴでロータリーが生まれた100年前のアメリカの社会経済状況は今よりもっと劣悪な状況であり、会員数減少の原因を不況に求めるのは当たらないと思います。

世界の会員数を増やすには各クラブの会員数を増やすこと（増強）とクラブ数を増やすこと（拡大）の二つの方法があります。拡大は増強と相対するもので、クラブの会員数が減少している今日、各クラブは増

強に必死であり、拡大に向け行動することに消極的な姿勢にならざるを得ないことは理解できます。

拡大月間に当たり世界と日本そしてR I 2760地区の拡大の歴史を今一度見なおし、「拡大」の持つ意義を考えてみたいと思います。

1 世界・日本・当地区における拡大の足跡

表1を見て判るように、世界の会員数は1989～1990年度から1996～1997年度まで増加していますが、その後減少し1999～2000

年度に最低となりました。しかし、２０００～２００１年度から一旦増加しましたが、２００３～２００４年度は再びやや減少しました。日本の会員数は１９９６～１９９７年度をピークにその後減少の一途を辿っています。当地区においては１９９７～１９９８年度にピークになりその後減少しています。会員数の減少に対しクラブ数は最近の１５年間に、世界も日本も当地区においても多少の増減はありますが、確実に増加しています。

2 人口から見た大都市（旧六大都市）の会員数

ロータリアンとしての年齢を３０歳以上と４０歳以上に分けて、旧六大都市について、現時点でのロータリー会員数を人口比で比較して見ると、当２７６０地区は４０歳以上では全国と同じですが、３０歳以上は全国よりやや低いことが判ります。当地区のロータリアンの人口比は、六大都市の中で高い方ですが、３０歳から４０歳未満のロータリアンを増やす努力をしても良いのではないかと思います。

3 クラブの適切な大きさは？

拡大或いは増強を行う場合、一つのクラブの適切な大きさ(会員数)を考える必要があると思います。ロータリー活動を成功させるには、会員間の意思疎通が図られていることが重要な条件の一つであると思います。意思疎通が可能な最適な人数はどのくらいでしょうか。一つの例として軍隊(自衛隊)を見てみると、最小の集団は「班」で１０名以内のようです。現在、ロータリークラブとして認められるのはクラブ最小限２０名です。「班」の上は「小隊」で約４０名で編成されているようです。会員数が少ない

と会員一人の負担が大きくなり、会員数が多過ぎると意思疎通が不十分となり、いずれも実効ある活動が難しくなります。飽くまで個人的な感覚的ではありますが、最も効果的な意思疎通と活動ができるのは、一クラブ８０名から１００名が理想的な人数ではないかと思います。会員数が現在８０名を超えているクラブは増強を考えず、親クラブとして、新しい奉仕の集団（子クラブ）を誕生させる努力、即ち拡大のための努力を切にお願いいたします。

4 「拡大」の持つ意義と「拡大」の方法

P G内藤卯三郎氏は「拡大は最大の増強である」と言われたと聞いています。拡大により奉仕の仲間を増やすことは、ロータリーの四大奉仕の輪を広げ、ロータリーが求めている世界平和のためにも意義あるものと思います。ロータリアンではないが、ロータリー精神の真髄である「超我の奉仕」を日々実践しておられる方々が周りに多いと思います。こうした方々を、仲間を迎えることはロータリー活動が一層活性化すると思います。更に、ロータリアン一人一人があらゆる機会を通じ、ロータリーの精神と活動を地域に発信することがロータリーについての理解を深め、かつ拡大・増強に繋がると思います。

おわりに

すべての生物は種属保存と繁栄のために努力します。人類(人間)も同様であり、ロータリーも然り。子クラブを育てる(拡大する)ことは重要なロータリー活動の一つと思います。どうぞ拡大にご理解とご協力をお願いいたします。

表1) 各年の6月30日時点のクラブ数と会員数の推移

年度	世界		日本		2760地区	
	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数
1990	25,160	1,121,230	1,917	114,263	64	5,311
1991	25,582	1,143,296	1,972	118,825	70	5,688
1992	25,928	1,155,810	2,032	122,515	72	5,833
1993	26,525	1,173,558	2,086	124,981	72	5,975
1994	27,026	1,190,102	2,126	126,264	72	6,026
1995	27,446	1,170,936	2,173	129,184	73	6,087
1996	28,134	1,206,112	2,208	131,477	75	6,247
1997	28,736	1,213,748	2,238	131,731	76	6,366
1998	29,113	1,201,595	2,260	129,491	76	6,406
1999	29,728	1,193,461	2,276	126,026	76	6,245
2000	29,629	1,180,550	2,291	122,678	78	6,221
2001	30,149	1,188,492	2,303	119,076	78	5,990
2002	31,256	1,243,431	2,314	115,315	79	5,773
2003	31,561	1,227,545	2,322	110,347	80	5,505
2004	31,963	1,219,532	2,327	106,201	80	5,353

表2) 各地区（旧六大都市）の会員数と人口比

地区	行政範囲	総人口 (単位・千)	30歳 以上 人口 (単位・千)	40歳 以上 人口 (単位・千)	クラブ 数	会員数 (人)	30歳 以上 人口比 (%)	40歳 以上 人口比 (%)
2580	東京・沖縄	13,737	9,229	6,923	163	8,788	0.095	0.126
2750	東京南・北マリアナ・グアム・ミクロネシア・パラオ							
2660	大阪府北部							
2640	大阪府南部・和歌山	9,864	6,464	4,925	162	7,059	0.109	0.143
2590 2780	神奈川	8,732	5,854	4,366	133	5,289	0.090	0.121
2680	兵庫	5,587	3,768	2,948	74	3,389	0.089	0.114
2700 2740	福岡・佐賀・長崎	7,423	4,920	3,951	117	6,030	0.122	0.152
2760	愛知	7,129	4,721	3,374	80	5,369	0.113	0.159
(34)	全国	127,687	86,722	68,242	2,337	108,840	0.125	0.159

注： (1) 人口：平成16年10月1日現在 (2005. 5. 6作成)
(2) 会員数・クラブ数：平成17年1月末現在

万博 だより

～ロータリー館 パビリオンデーを終えて



ロータリー館 館長

豊島 徳三

去る6月30日、万博協会の公式行事の一つである「ロータリー館パビリオンデー」をロータリー館を第1会場として「ウェルカムプラザ」と銘うって、終日、会員、家族の交流の場、友愛の広場として食事、飲み物を揃えた所、梅雨にも拘わらず幸い好天に恵まれ、延べ1,000名を超える来館者を迎える事が出来ました。主体、主役は全てロータリー会員をとのモットーに和合・名古屋北・南R.C.の会員で編成された「ザ・リメンバーズ」(ハワイヤン)豊橋・北・南R.C.からのトリオ「RCQ」(ジャズ・ボーカル)の演奏、そしてあまR.C.の大竹和美ご夫妻によるマジック等に加えて、カラー・セラピー、似顔絵、占い等お楽しみのコーナーを設け、早朝9時オープンから夜9時までフル活動の一日で皆さんお楽しみいただけたものと確信しております。



一方、第2会場はEXPOホールにて、午後4時30分よりロータリー創立100周年記念式典を開催。(財)2005年日本国際博覧会協会、会長 豊田章一郎様よりお祝辞を賜り、ロータリーを代表して国際博委員長 内藤明人パストガバナーの挨拶、次いで豊田会長より内藤委員長へ最大サイズのモリゾーの贈呈があり、その時、贈る側と受け取る側とのやりとりでハプニングが起き、大爆笑の中でセレモニーは終了。竹本泰蔵氏指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏によるコンサートが開かれました。J シュトラウス作曲「春の

声」に始まり、L アンダーソン作曲アイルランド組曲、更にドヴォルザーク作曲スラブ舞曲の演奏に万場の聴衆は暑い一日にも拘わらず大いに癒しの一時を過ごして頂けたと確信しております。圧巻は、盛田和昭パストガバナーが指揮されたドヴォルザーク作曲の交響曲9番であった。ご自身外見も含め、ベートーベンをと志をもっておられるだけに素晴らしいパフォーマンスは拍手なりやまず何よりの証であった。最後に会員、家族90名で構成の混声合唱団コールロータリーEXPOのふるさとの四季、他2曲は一層ホール内の華やいだ雰囲気醸しだし、団員皆さんのこの一年間の努力と指導された方の熱意の成果を実感しました。一言お詫びを申し上げる点は、コンサートについては協会の公開行事のため、会員のみでなく広く一般の方々に入場の機会をとの事、従って、席数にも限りがあり大変ご迷惑をおかけした事、一方ロータリー館における行事についても広報、伝達方法の不備から不快な思いをさせた方もおありであったのではないかと反省をいたしております。快く出演、ご協力下さった会員、家族の皆様。企画、運営に陰で支えてくれたスタッフの皆さんに心より感謝いたします。



地区協議会

日時:平成17年5月8日(日) 午前9:30～午後4:00

会場:ウエスティンナゴヤキャッスル

地区協議会はロータリーの年間行事で最も重要な会議であり、去る5月8日、次期地区指導者、次期クラブ指導者が集結し、開催されました。席上高橋治朗ガバナーの点鐘により本会議が始まり、「新しい年度の目標」と題し、RIテーマ、新年度地区方針についての教育、そして温かい激励がなされました。以下の2点について詳しくお話を頂きました。



■ RIテーマ

『SERVICE Above Self』超我の奉仕

2760地区の2005～2006年度方針

- 1 『超我の奉仕』の具体化
- 2 会員増強と退会防止
- 3 愛・地球博の成功
- 4 公共的イメージの向上

地区協議会分科会指導者名

■第1分科会 (会長・幹事・会計・2005国際博・拡大)

リーダー	ガバナー	大島 宏彦 (名古屋)
アドバイザー	ガバナーエレクト	高橋 治朗 (名古屋西)
	ガバナーノミニ	斎藤 直美 (豊田)
	バストガバナー	蜂谷 弘道 (名古屋和合)
	バストガバナー	内藤 明人 (名古屋西)
	バストガバナー	野村 重彦 (刈谷)
アシスタントリーダー	地区幹事	安藤 重良 (名古屋)
	次期地区幹事	川島 誠 (名古屋西)
	次期地区会計長	服部 龍夫 (名古屋西)
	次期地区財務委員長	瀧 義孝 (一宮北)
	次期地区監事	天野 源治 (名古屋西)
	国際博ロータリー館館長	豊島 徳三 (一宮北)
	次期拡大委員長	杉浦 壽康 (岡崎)
	06～07年度地区幹事	藤井 伸三 (豊田)

■第2分科会 (クラブ奉仕・会員増強・広報・インターネット・副会長又は会長エレクト・ロータリー情報)

リーダー	次期地区クラブ奉仕委員長	江崎 柳節 (小牧)
アドバイザー	バストガバナー	福田 浩三 (名古屋空港)
アシスタントリーダー	次期南尾張分区分ガバナー補佐	竹内 尚哉 (半田)
	次期地区会員増強委員長	菊岡深智子 (名古屋南)
	次期地区広報委員長	大島 寅夫 (名古屋)
	次期ロータリー家族委員長	大矢 裕慈 (名古屋中)
	次期ロータリーの友地区委員	松前 憲典 (一宮中央)
	次期インターネット委員長	坂本 晃 (名古屋南)
	担当次期地区副幹事	荒川永太郎 (名古屋)

■第3分科会 (職業奉仕・国際奉仕・青少年交換・世界社会奉仕)

リーダー	次期地区職業奉仕委員長	堀々大刀雄 (春日井)
アドバイザー	バストガバナー	石川 和昌 (豊橋)
アシスタントリーダー	次期西名古屋分区分ガバナー補佐	成田 洋之 (名古屋みなと)
	次期東三河分区分ガバナー補佐	松崎 進 (豊橋ゴールデン)
	次期地区国際奉仕委員長	大谷 和雄 (名古屋千種)
	次期地区青少年交換委員長	鈴木 吉男 (津島)
	次期地区世界社会奉仕委員長	水谷 金之 (名古屋北)
	次期地区職業奉仕副委員長	小島 清路 (名古屋みなと)
	担当次期地区副幹事	一柳 伸 (名古屋西)
	担当次期地区副幹事	大竹 勇司 (名古屋西)

■第4分科会 (社会奉仕・R.C.C・環境保全)

リーダー	次期地区社会奉仕委員長	伊藤 秀雄 (名古屋東南)
アドバイザー	バストガバナー	神戸 政治 (あま)
アシスタントリーダー	次期西三河分区分ガバナー補佐	杉浦 義尚 (高浜)
	次期地区環境保全委員長	長瀬 諭 (名古屋栄)
	次期地区RCC委員長	加藤 真治 (刈谷)
	担当次期地区副幹事	鈴木 和雄 (名古屋西)

2005～2006年度のための地区協議会プログラム

開催日時 :平成17年5月8日(日) 午前9:30～午後4:00
 ホストクラブ :西尾ロータリークラブ

開催場所 :ウエスティンナゴヤキャッスル

時 間	次 第	御 名 前			
9:30～10:20 午前の部	登録(9:30友愛の広場会場)				
10:30～12:00 10:30	本会議 点鐘 開会の言葉 国歌「君が代」斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」 歓迎の挨拶 特別出席者紹介 出席クラブ紹介(分区、クラブ名、会員数) ガバナー挨拶	司会 ガバナーエレクト 実行委員長 ソングリーダー ソングリーダー ホストクラブ会長 次期地区幹事 副実行委員長 ガバナー	岡田 文雄 高橋 治朗 山崎 周彌 齋藤 肇 齋藤 肇 杉浦 澄雄 川島 誠 山本 慶一 大島 宏彦		
11:00	「新しい年度の目標」について	ガバナーエレクト	高橋 治朗		
11:30	ガバナー引継ぎ・記念エンブレム贈呈 ガバナーズ・クラブガバナー引継ぎ 大島ガバナー・地区幹事へ花束贈呈 (ホストクラブより)	ガバナーエレクト 次期地区幹事 ガバナーエレクト ガバナーエレクト	高橋 治朗 川島 誠 高橋 治朗 高橋 治朗		
11:40	2005～2006年度地区大会のご案内 次期ホストクラブ発表 次期ホストクラブ代表挨拶 2005国際博について	豊田西RC会長エレクト ガバナーエレクト 名古屋名北RC会長エレクト 国際博ロータリー館館長	鈴木 幸穂 高橋 治朗 横田 徳久 豊島 徳三		
12:00	諸事のお知らせ	司会	岡田 文雄		
12:05～13:00	移動・昼食				
午前の部 13:10～15:30	分科会 第1分科会～第8分科会				
15:30～15:45	移動・休憩				
15:45～16:00 15:45 16:00	本会議 ガバナー講評 点鐘	ガバナー ガバナーエレクト	大島 宏彦 高橋 治朗		

■第5分科会 (新世代・インターアクト・ローターアクト・ライラ)

リーダー	次期地区新世代委員長	藤井 忠	(西春日井)
アドバイザー	バストガバナー	松本 宏	(半田)
アシスタントリーダー	次期西尾張分区ガバナー補佐	大森 一人	(一宮)
	次期地区インターアクト委員長	秋田 敬治	(豊田)
	次期地区ローターアクト委員長	遠山 堯郎	(名古屋瑞穂)
	次期地区ライラ委員長	早川 佳教	(知多)
	担当次期地区副幹事	和田 政司	(名古屋西)

■第7分科会 (米山奨学・米山学友)

リーダー	次期地区米山奨学委員長	小山 慎介	(名古屋名南)
アドバイザー	バストガバナー	加納 泉	(名古屋中)
アシスタントリーダー	次期東尾張分区ガバナー補佐	岩井 正彦	(江南)
	次期地区米山奨学副委員長	浅野多喜男	(あま)
	次期地区米山学友委員長	大西 弘高	(名古屋東南)
	次期地区米山学友副委員長	竹内 一郎	(刈谷)
	担当地区副幹事	鵜飼 治昭	(名古屋西)

■第6分科会 (ロータリー財団・補助金・年次寄付・財団奨学・財団学友・恒久基金・研究グループ交換・ポリオプラス)

リーダー	次期地区ロータリー財団委員長	鈴木 孝則	(あま)
アドバイザー	バストガバナー	福田 清成	(江南)
アシスタントリーダー	次期東名古屋分区ガバナー補佐	田嶋 好博	(名古屋北)
	次期地区補助金委員長	平岩 慎次	(尾張中央)
	次期地区年次寄付委員長	鈴木 哲	(名古屋みなと)
	次期地区財団奨学委員長	川辺 清次	(名古屋名南)
	次期地区財団学友委員長	藤田 守彦	(名古屋名南)
	次期地区恒久基金委員長	渡辺 均	(あま)
	次期地区研究グループ交換委員長	矢形 修己	(名古屋北)
	次期地区ポリオプラス委員長	山内 登	(尾西)
	担当次期地区副幹事	宮田 紀昭	(名古屋西)

■第8分科会 (新会員・一般会員)

リーダー	次期地区研修リーダー	太田賢太郎	(岡崎)
アドバイザー	バストガバナー	岡部 快圓	(名古屋大須)
アシスタントリーダー	次期西三河中分区ガバナー補佐	小野 智範	(岡崎城南)
	次期地区クラブ奉仕副委員長	井上 穂	(尾張中央)
	次期地区社会奉仕副委員長	西脇 良一	(豊橋ゴールデン)
	担当次期地区副幹事	田中 義一	(名古屋西)

RI 日本委員のご紹介

皆様既にご承知とは存じますが、日本には34地区あり、第1ゾーン、第2ゾーン、第3ゾーン、第4ゾーンに分かれており、当2760地区は第3ゾーンに属しております。

当地区のバスター・ガバナーの皆様には、今年度、国際ロータリーの各委員会等でご活躍をいただいております。下記RI委員会在日委員のリストを掲載いたしますので、宜しくご承知置きいただきたく、ご案内申し上げます。



第2760地区 ガバナー

高橋 治朗

RI 委員会在日委員

識字率向上支援グループ	第3ゾーン・コーディネーター	加納 泉
識字率向上支援グループ	地区実行グループコーディネーター	石川 和昌
水保全・保健・飢餓救済支援グループ	地区実行グループコーディネーター	松本 宏
日本恒久基金委員会	日本委員	野村 重彦
大口寄付アドバイザー	第3ゾーン・アドバイザー	岡部 快圓
(財)米山梅吉記念館	評議員	松本 宏
米山記念奨学会	理事	加納 泉
米山記念奨学会	評議	大島 宏彦
米山記念奨学会	評議	高橋 治朗
米山記念奨学会	評議	斎藤 直美

文庫通信 214号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリー創立100周年に寄せて」

◎「巡礼ーロータリー百年」

佐藤千壽 D.2670・D.2620 2005 63p [申込先:ロータリー文庫]

◎「ロータリーの新しい流れー基本に戻ろう」

板橋敏雄 2005 9p (D.2710地区大会基調講演)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリー100周年に寄せて」

天野 肇 2005 11p (D.2690地区大会基調講演)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリー100年の歴史に学ぶ」

佐藤千壽(コーディネーター) 2005 17p (D.2580地区大会シンポジウム)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「100年後の青少年に向けてー新世代について考える」

古木圭介(コーディネーター) 2005 7p (D.2730地区大会シンポジウム)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「『温故創新』ロータリーの心を尋ねて」

松岡通夫 2005 5p (D.2680月信) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「RI 100年の意義」

黒田正安 2005 4p (D.2830IM記念講演) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「101年目からのロータリーを考える」

中島治一郎(コーディネーター) 2004 19p (D.2640地区大会パネルディスカッション)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリーの森を歩く」

佐古亮尊 大村北R.C. 2005 345p
[申込先:長崎新聞社出版部 TEL(095)844-5469]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日